

平成26年度介護保険特別会計当初予算額

(単位:千円)

歳 入	予 算 額	歳 出	予 算 額
1 保 険 料	114,837	1 総 務 費	20,262
2 使 用 料 及 び 手 数 料	30	2 保 険 給 付 費	506,874
3 国 庫 支 出 金	110,244	3 地 域 支 援 事 業 費	8,929
4 支 払 基 金 交 付 金	147,585	6 基 金 積 立 金	72
5 県 支 出 金	71,756	7 公 債 費	61
6 財 産 収 入	72	8 諸 支 出 金	153
7 繰 入 金	91,562	9 繰 出 金	1
8 繰 越 金	803	10 予 備 費	648
9 諸 収 入	111		
歳 入 合 計	537,000	歳 出 合 計	537,000

平成26年度介護保険特別会計 予算の概要

平成26年度は第5期介護保険事業計画の最終年度であり、計画書に記載した内容やサービス量が妥当であったかを検証すると同時に、第6期介護保険事業計画の策定を行う年度となります。第5期計画は、予測していたより居宅介護サービス給付費は下回り、地域密着型サービス給付費・居宅介護サービス計画給付費は計画値を上回る状況で、給付費全体は計画と大きな乖離はなく推移しています。当初予算は第5期介護保険事業計画書に沿って計上していきますが、事業評価を行い、予算の執行状況をみながら、適正な時期に予算の補正や組替を行っていきます。

第5期計画の居宅介護サービス給付費には、黒岩に建設された有料老人ホーム生楽館の入居者やデイケア大地の利用による増を考慮しています。平成25年末で、生楽館の入居者は32人（定員80人）で坂祝町内の入居者は1人ですので、居宅介護サービス給付費の減の原因の一つは、計画に入居者の外部サービス利用を見込んだことで、実績との差が出ているものと考えています。

また、グループホームへの町内の入居者が17人（愛の家GH9人、さわやかGH8人）で、地域密着型介護サービス給付費が増加、居宅介護サービス計画給付費・高額介護サービス等費の給付が伸びています。

介護保険の最重点事業は、第6期介護保険事業計画の策定です。平成26年通常国会へ提出予定の法案ですが、介護保険制度開始以来の最大の改正と言われており、充実と重点・効率化が図られる予定です。充実としては、地域包括ケアシステムの構築で在宅での24時間支援体制を目指します。また、低所得者保険料の軽減強化です。重点・効率化では、平成27年度からの特養入居を介護度3以上とすること及び、所得や資産のある人の利用者負担の引き上げです。特に、地域包括ケアシステムの構築の中で介護予防給付（訪問介護・通所介護）が市町村事業として地域支援事業に位置付けられますので、市町村の事務事業は膨大となると言われています。また、持続可能な制度とするため、低コストで実施可能な制度外サービスの構築は急務で、支え合い団体の育成に力をいれていかなければなりません。